



2022 年臨床漢方薬理研究会大会Ⅱ (第118回例会)

テーマ

日時・会場

2022年9月4日(日)

10時30分～15時

武田薬品工業株式会社
京都薬用植物園

京都市左京区一乗寺竹ノ内町 11

TEL 075-781-6111 / FAX 075-781-6115



研究会参加費：3000円

* 昼食は各自ご持参頂き、廃棄物を持ち帰る袋を、用意してください。

参加希望者は下記URL(グーグルフォーム)でお申し込み下さい。定員となりましたら申し込みを終了させていただきます。

事務局：上松成人
(日中夢楽観光株式会社)
uematsu@yumeraku.jp
TEL: 090-1900-4714



研究会連絡先：

臨床漢方薬理研究会代表 日置智津子

chioki@med.kindai.ac.jp

近畿大学 法人本部社会連携推進センター
〒577-8502 東大阪市小若江3丁目4番1号

主催 臨床漢方薬理研究会

私達の生活「医・食・文化」 を支える植物の生命力

プログラム

10時30分～12時30分

① 「植物生命活動と和漢食・薬理」

日置 智津子

近畿大学法人本部社会連携推進センター

② 「江戸時代の園芸と食文化」

倉重 祐二

公益社団法人 日本植物園協会専務理事

昼食

③ 13時～15時

「薬用・食養に用いる植物の生態観察」

京都薬用植物園職員の皆様

ご案内

コロナ禍、アフターコロナ、過酷な自然環境、そして否応なく人災による社会環境の変化を経験している、地球の住人である私達。私達は今、蛹が蝶になるような、大きな変化(成長)を遂げなければ、幸福な長寿時代(人生100歳時代)を迎えられないのではないのでしょうか？

激変する環境に柔軟に対応するには、加齢に負けない代謝力の向上が必要です。そして揺れ動く心と身体の均衡をとる事が大切です。時の流れの中で続く、私達の生命の営みには、植物は欠かせない仲間でした、そしてこれからも。

自然の恩恵を基礎とする東洋医学の科学は、生命の未科学でもあります。俯瞰的に、漢方を学びませんか。